



安曇野市立明北小学校

かんだち山

11月号

令和7年11月11日

文責：校長 浅川 浩

運動会が行われました

10月18日（土）「運動会」が行われました。心配されていた天気にも恵まれ、子どもたちは練習を重ねてきた成果を発揮することができました。今年度は、オープニングやフィナーレを子どもたちが司会・進行を行いました。新しい種目を取り入れたり、当日の仕事など運営面にも取り組んだりして、子どもたちが中心となり運動会を創り上げることができました。今年度の運動会のスローガン「全力を出し切って 楽しむ運動会！」の通りの素晴らしい運動会になりました。保護者の皆様には、運動会終了後の片付けにご協力いただき、ありがとうございました。



練習班ごと取り組んで玉仗リレー



1・2年生の「ダンス！ダンス！ダンス！」



3・4年生の「ダンスホール」



5・6年生の組体操「勇往邁進」

～目標に向かって突き進め～

廃線敷の魅力を歩いて学びました～職員研修から～

10月15日（水）に職員研修として、廃線敷の見学をしました。講師として矢花和成先生と東平庵の寶喜吉先生をお招きし、旧第二白坂トンネルから、潮沢信号場跡、漆久保トンネル出口まで歩きました。講師に先生方から周辺の地形や列車が走っていた当時の話などを聞きながら研修を行いました。実際に現地を歩いて見ることで、当時の人たちが地形に合わせた防災を考えながらこの地に線路を敷いた思いや、トンネルに使われたレンガの組み方の工夫なども学ぶことができました。今回学んだ廃線敷の魅力を子どもたちにも伝えたいと思います。



<学校からのお知らせ>

明科小中三校の、「TOCO-TON（トコトン）」に関わる実践について記載した通信「TOCO-TON 明科」を、学校ホームページに掲載します。

本年度より3年間、長野県教育委員会のウェルビーイング実践校「TOCO-TON（トコトン）」事業を、明科小中三校（明北小・明南小・明科中）が実施することになりました。この事業は、すべての子どもが「好き」「楽しい」「なぜ」を追究し、自己実現できる学校づくりを進めるものです。

明科小中三校は、『限りない探究心を、園から小・中、さらに高へ！』を、目指す学校（地域）の姿とし、「あづみの自然保育」から小中学校へと続く一人ひとりが輝く主体的・連続的な学び」「明科地域の園小中高と地域の連携・交流で深める絆と郷土愛」を取り組んでいます。

今後も、適宜追加掲載していきますのでご覧ください。